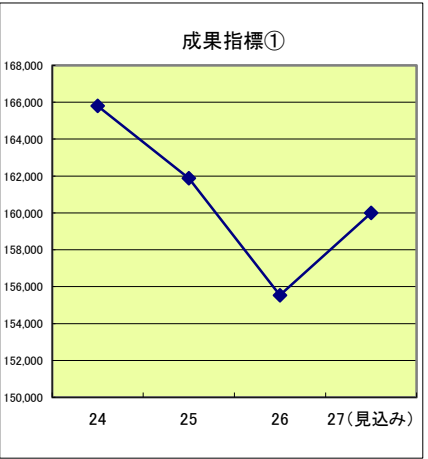
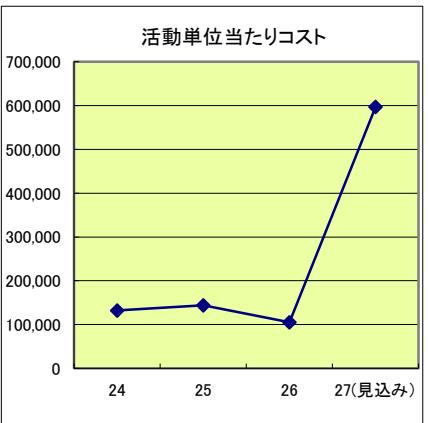


事務事業名			市民体育施設（総合スポーツセンター以外）管理運営業務		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち			款	10	教育費	
	施策(節)	4	市民スポーツ・レクリエーション			項	6	保健体育費	
	施策の方向	(3)	施設の有効活用と効率的な管理運営			目	3	体育施設管理運営費	
関連する計画等					事業	11	体育施設管理運営費		
					作成部署	教育委員会事務局生涯学習室スポーツ振興課			
					(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 4410			
事業の概要(目的・内容)			市民体育館・市民プール・グレープヒルスポーツ公園・石川スポーツ公園・陵南の森運動広場・テニスコート（駒ケ谷・市民体育館屋外・羽曳が丘西北公園内）の有効活用と効率的な管理運営を行い、広く市民の競技スポーツ・生涯スポーツ・生涯学習の場として提供する。一部施設を除き平成18年度より指定管理者制度を導入し、管理運営業務を指定管理者が行っている。また平成28年度より（仮称）中央スポーツ公園がオープンし、羽曳野市の屋外スポーツの拠点施設として、管理運営を行う。						
根拠法令等			スポーツ基本法・各羽曳野市施設条例・同施行規則						
事業期間			☒ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 5年未満（平成 年度開始）						
事業開始時から の状況変化			経年劣化に伴う施設の改修と、備品等の更新が必要。（特に市民体育館は耐震工事が必要）						
実施手法			☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他（ ）						
委託先			☒ 市外郭団体委託 名称（ 羽曳野市施設管理公社 ）		委託内容	各施設の管理運営業務			
			☐ 民間委託 ☐ その他						

区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	
		(実績)	(実績)	(実績)	(見込み)	
事業費【1】 (千円)		36,093	37,018	37,747	214,250	
人件費【2】 (千円)		11,298	14,610	0	0	
職員数	正規職員	0.42 人	0.90 人	0.30 人	0.30 人	
	再任用職員	4.00 人	4.00 人	0.00 人	0.00 人	
	嘱託職員	人	人	人	人	
	臨時職員・非常勤職員	人	人	人	人	
超過勤務(参考) (時間)		時間	時間	時間	時間	
総事業費 (【1】+【2】) 【A】 (千円)		47,391	51,628	37,747	214,250	
財源内訳	国庫支出金 (千円)					
	府支出金 (千円)					
	市債 (千円)					
	その他 (使用料・手数料等) (千円)	1,724	1,899	1,737	1,800	
	一般財源 【B】 (千円)	45,667	49,729	36,010	212,450	
活 動 指 標 【C】		24年度	25年度	26年度	27年度	
(事業の活動実績) (単位)					(見込み)	
① 会館・開場・開園日数	日	359	359	359	359	
②						
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)		132,008 円	143,811 円	105,146 円	596,797 円	
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】①)		127,206 円	138,521 円	100,307 円	591,784 円	
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)		405 円	443 円	327 円	1,869 円	
一般財源【B】の推移 (前年度比)			8.9 % ▲ 27.6 %		490.0 %	
※前年度比5%以上変動している要因 (該当する場合のみ✓) ※該当項目すべてに✓		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど				☐ 2. 左記
		☐ 3. 物価・賃金水準などの変動				☐ 4. 国庫
		☐ 5. その他(				



成果指標 (事業の達成度)	指標名		単位	平成24年度		平成25年度	平成26年度		平成27年度
	①	施設全体の利用者数	人	目標	150,000	160,000	160,000	達成率(%)	160,000
	(式又は説明)			実績	165,800	161,879	155,535	97.2%	
	②			目標				達成率(%)	
	(式又は説明)			実績					

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
		○				○	○		○	

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	市民の競技スポーツ・生涯スポーツ・生涯学習の場として無くてはならない施設である。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	指定管理者と施設の効率的な管理運営方法を検討し、事業費削減に取り組んでいる。施設の老朽化に伴う修繕箇所が多数あり、また備品等も更新しなければならず、多額の予算が必要である。また、市民体育館は耐震工事が必要。市民体育館1階のトレーニングルームも平成26年9月に廃止し、利用者の多い卓球台を増やした。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☐	☐	☒	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	事業実施に対し、関係団体や利用者と協力し、大会運営等を行う必要がある。
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	目標値は達成しているが、今後さらに利用者数を増やせたい。
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☐	☒	☐	今後利用者数の向上に向けて関係団体等と連携協力を図る。

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 （概ね現行どおり継続して実施） （実施方法の改善を検討する） （事業規模の縮小を検討する） （廃止・休止を検討する）	
	今後に向けて（取組方針・具体的な改善改革案など）	
	今後も引き続き各施設の利用者数を増やす為に関係団体等と連携協力を図り、施設の改善を改善を進める。	
行革本部評価	総合評価	
	☐ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止	
	評価理由・意見	